

プログラム

7月6日(火)

14:00-15:30 理事会(4階 401会議室)

15:30-16:30 評議員会(2階 福寿)

7月6日(火) 16:35-17:35

A会場(2F瑞雲)

技術セミナー1

PGx検査を取り巻く環境とDMET™ Plus アレイ

【モデレーター・演者】 登 勉 (三重大学大学院医学系研究科 研究科長)

【演 者】 米山 政男 (アフィメトリクス・ジャパン株式会社 代表取締役)

【提 供】 シスメックス株式会社

7月6日(火) 16:35-17:35

A会場(2F平安)

技術セミナー2

CORYNEX®; *Corynebacterium glutamicum*における新規タンパク質分泌生産系

【演 者】 菊池 慶実 (味の素株式会社ライフサイエンス研究所)

【提 供】 味の素株式会社

基調講演

がんゲノム研究からがん分子標的治療薬へ

【モデレーター】 長田 裕之 ((独) 理化学研究所基幹研究所ケミカルバイオロジー研究基盤施設)

【演 者】 中村 祐輔 (東京大学医科学研究所)

18:30-20:00 ミキサー (B会場)

7月7日(水) 9:00-9:50

A会場

Year in Review1,2

- Y1 細胞の守護者オートファジー：その分子機構と生理機能.....48
 【モデレーター】宮園 浩平（東京大学大学院医学系研究科分子病理学）
 【演 者】吉森 保^{1,2}（¹大阪大学 医学系研究科 遺伝学、²大阪大学 生命機能研究科 細胞内膜動態）
- Y2 がんの分子イメージング.....48
 【モデレーター】平岡 眞寛（京都大学医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学）
 【演 者】今村 健志^{1,2}（¹財団法人癌研究会 癌研究所 生化学部、²CREST, JST）

7月7日(水) 9:00-9:50

B会場

Year in Review3,4

- Y3 癌化学療法と薬物トランスポーター.....49
 【モデレーター】藤田 直也（(財)癌研究会癌化学療法センター基礎研究部）
 【演 者】杉山 雄一（東京大学大学院薬学系研究科）
- Y4 がんにおけるエピジェネティックな異常～発がんにおける役割と分子標的への応用～.....49
 【モデレーター】新津 洋司郎（札幌医科大学分子標的探索講座）
 【演 者】豊田 実（札幌医科大学大学生化学講座）

ワークショップ1

ケミカルバイオロジー [I]

【モデレーター】 井本 正哉（慶應義塾大学理工学部生命情報学科）
水上 民夫（長浜バイオ大学バイオサイエンス学部遺伝子生命科学コース）

- W1-1 “ヒト化酵母”技術による新規創薬ターゲットの同定と阻害剤開発.....58
久能 樹¹、長谷川 慎¹、新家 一男²、佐々木 隆造^{1,3}、水上 民夫¹
¹長浜バイオ大学 バイオサイエンス研究科
²産業技術総合研究所
³株式会社 フロンティアファーマ
- W1-2 蛍光ペプチドを用いたヒストンリシンメチル化酵素活性測定法の開発.....58
竹本 靖¹、伊藤 昭博^{1,2}、吉田 稔^{1,2}
¹理化学研究所 基幹研 ケミカルゲノミクス
²科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業
- W1-3 新規 scaffold を有する TGF- β シグナル伝達経路遮断薬の創製研究.....59
高須 康明、高畑 ひさ枝、服部 明、掛谷 秀昭
京大 院薬 システムケモセラピー（制御）
- W1-4 化合物アレイを用いた Pirin 阻害剤の探索と解析.....59
宮崎 功、清水 史郎、奥村 英夫、高木 聡、長田 裕之
理研・ケミカルバイオロジー研究基盤施設
- W1-5 微生物由来新規化合物 HE21 のアンドロゲンアンタゴニスト活性.....60
藤巻 貴宏、鳥居 健太郎、河村 達郎、小林 大貴、田代 悦、井本 正哉
慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科

ワークショップ2

ケミカルバイオロジー [II]

【モデレーター】 梅澤 一夫 (慶應義塾大学理工学部応用化学科)
杉本 芳一 (慶應義塾大学薬学部化学療法学講座)

- W2-1 新生血管内皮細胞を障害するジケトピペラジン型微小管脱重合剤の創製.....61
林 良雄、山崎 有理
東京薬科大学 薬学部 薬品化学
- W2-2 新規蛍光プローブを用いたヒストン脱アセチル化酵素阻害剤の生細胞内作用機序解析.....61
伊藤 環^{1,3}、伊藤 昭博^{1,2,4}、吉田 稔^{1,2,4}
¹理化学研究所 吉田化学遺伝学研究室
²理化学研究所 基幹研 ケミカルゲノミクス
³埼玉大学大学院 理工学研究科 理工学専攻
⁴科学技術振興機構 戦略的創造推進事業
- W2-3 がんウイルス Epstein-Barr Virus 由来の EBNA1 蛋白質の DNA 結合能を阻害する化合物の探索研究.....62
野口 耕司¹、片山 和浩¹、蓑島 維文²、板東 俊和²、杉山 弘²、杉本 芳一¹
¹慶應義塾大学薬学部化学療法学講座
²京都大学大学院理学研究科化学専攻
- W2-4 リン酸化特異的プロリン異性化酵素 Pin1 阻害小分子の探索.....62
渡辺 信元、二村 友史、真田 英美子、長田 裕之
理研 ケミカルバイオロジー研究基盤施設

ワークショップ3

転移・浸潤

【モデレーター】 入村 達郎(東京大学大学院薬学系研究科生体異物学教室)
 済木 育夫(富山大学)

- W3-1 小細胞肺がん転移におけるDLL4-Notchシグナルの臓器特異性に関する検討**63
 倉本 卓哉¹、後東 久嗣²、小川 博久⁴、三橋 惇志²、前川 洋一³、安友 康二³、柿内 聡司¹、西岡 安彦²、
 曾根 三郎^{1,2}
¹徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部腫瘍内科学分野
²徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部呼吸器・膠原病内科学分野
³徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部生体防御医学分野
⁴徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部環境病理学分野
- W3-2 UTKO1のがん細胞遊走阻害機構解析**63
 小林 大貴、田代 悦、井本 正哉
 慶応義塾大学 理工学部 生命情報学科
- W3-3 GC-binding factor 2がもたらす大腸癌細胞の転移・浸潤メカニズムの解明**64
 有明 恭平¹、大塚 英郎¹、元井 冬彦¹、力山 敏樹¹、片寄 友^{1,2}、江川 新一¹、海野 倫明¹
¹東北大学大学院 消化器外科
²東北大学大学院 統合がん治療外科
- W3-4 Keap1によるアクチン結合タンパク質 cortactinの新規制御機構**64
 伊藤 昭博^{1,2,3}、前田 里子²、吉田 稔^{1,2,3}
¹理研・基幹研・吉田化学遺伝学
²理研・基幹研・ケミカルゲノミクス
³戦略的創造研究推進事業・科学技術振興機構

ワークショップ4

細胞周期・転写因子

【モデレーター】 秋山 伸一（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部腫瘍内科学分野）
河野 公俊（産業医科大学医学部分子生物学）

- W4-1 PIK3CA・PTEN変異がんに対するZSTK474のG₀/G₁アレストを介した抗がん効果**65
 且 慎吾¹、向井 由美子¹、井上 靖道²、今村 健志²、矢守 隆夫¹
¹ 癌研・癌治療セ・分子薬理
² 癌研・研・生化学
³ 理研・脳科学総合研究セ
- W4-2 CDC6の発現調節を介したY-ボックス結合蛋白1 (YB-1) によるがん細胞の増殖及び細胞周期の制御**65
 久保 卓也¹、馬崎 雄二¹、村上 雄一¹、桑野 信彦²、小野 真弓¹
¹ 九大・院薬・創薬腫瘍科学講座
² 九大・院薬・がん分子生物学
- W4-3 Evi1 高発現白血病に対する分子標的療法の確立**66
 吉見 昭秀、中川 正宏、今井 陽一、黒川 峰夫
 東京大学大学院 血液・腫瘍内科
- W4-4 高悪性度膀胱癌細胞の増殖・生存における転写因子AP-1 およびNF-κBの抗癌剤治療抵抗性への関与**66
 鈴木 絵里子¹、菊地 栄次¹、堀口 裕³、大家 基嗣¹、梅澤 一夫²
¹ 慶應義塾大学医学部泌尿器科
² 慶應義塾大学理工学部応用化学科
³ 東京医科大学病院泌尿器科
- W4-5 大腸がん高発現遺伝子FOXQ1はがんの腫瘍形成能および腫瘍増殖能を亢進させる。**67
 金田 裕靖¹、荒尾 徳三¹、古田 一行¹、松本 和子¹、工藤 可苗¹、田村 大介¹、青松 圭一¹、永井 知行¹、
 坂井 和子¹、木村 英晴¹、藤田 至彦¹、山田 康秀⁴、西條 長宏³、岡本 勇²、中川 和彦²、西尾 和人¹
¹ 近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室
² 近畿大学 医学部 腫瘍内科
³ 近畿大学 医学部
⁴ 国立がんセンター中央病院 腫瘍内科

ワークショップ5

ホルモン・ホルモンレセプター

【モデレーター】 瀬戸 加大 (愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部)
青木 裕子 (中外製薬株式会社研究本部創薬研究第二部)

- W5-1 新規エストロゲン受容体制御分子によるホルモン依存性乳がん増殖機構の解明**.....68
吉丸 哲郎¹、松尾 泰佑¹、中村 祐輔²、片桐 豊雅¹
¹徳島大学 疾患ゲノムセ ゲノム制御
²東大医科研 ヒトゲノム解析セ
- W5-2 新規アンドロゲン受容体純アンタゴニストCH5137291の創製と去勢抵抗性前立腺癌に対する抗腫瘍効果**.....68
石倉 信之、川田 洋充、白石 拓也、青木 裕子
中外製薬株式会社 研究本部
- W5-3 Prostate cancer antigen-1を分子標的とする前立腺癌治療創薬**.....69
辻川 和丈¹、青木 俊二²、古川 龍彦³
¹大阪大学薬学研究科細胞生理学分野
²兵庫医療大学薬学部天然薬物学
³鹿児島大学医歯学総合研究科分子腫瘍学
- W5-4 多成分縮合反応によるホルモン様抗腫瘍性薬剤の迅速合成**.....69
椎名 勇、中田 健也、王 エンブン
東京理科大学 理学部 応用化学科

ワークショップ6

増殖因子・サイトカイン

【モデレーター】 桑野 信彦（九州大学大学院薬学研究院臨床薬学部門臨床薬学講座がん分子生物学研究室）
前川 平（京都大学医学部附属病院輸血細胞治療部）

- W6-1 *Perisporiopsis melioides* Mer-f16716 由来新規物質NBRI16716Aによる
前立腺癌の抑制.....70
川田 学、大庭 俊一、増田 徹、池田 大四郎
微生物化学研究セ 沼津創薬医科学研究所
- W6-2 新規EGFR-TK分子イメージング薬剤PYKの開発（2）：
ゲフィチニブ奏効患者の鑑別法への展開.....70
間賀田 泰寛¹、平田 雅彦²
¹浜松医科大学 光量子医学研究センター
²大阪薬科大学
- W6-3 独自のファージ提示型抗体ライブラリから得られた癌細胞増殖抑制活性を示す新規抗ヒトEGF
レセプター抗体.....71
高柳 淳^{1,2}、吉田 徹彦^{1,3}、清水 信義¹
¹慶應義塾大学先端研GSPセンター
²慶應義塾大学医学部分子生物学教室
³東亜合成株式会社先端科学研究所
- W6-4 NDRG1/Cap43のヒト胃癌における悪性進展への関与.....71
村上 雄一¹、細井 文仁¹、桑野 信彦²、河原 明彦³、鹿毛 政義³、小野 真弓¹
¹九大・院薬・創薬腫瘍科学
²九大・院薬・がん分子生物
³久大・病院病理部

7月7日(水) 12:20-13:20

A会場

ランチョンセミナー1

Developing novel glycoengineered antibodies with optimized effector functions

【モデレーター】 畠 清彦 (財団法人癌研究会有明病院 化学療法科兼血液腫瘍科部長)

【演 者】 Christian Klein (Roche/GlycArt)

【共 催】 中外製薬株式会社

7月7日(水) 12:20-13:20

B会場

ランチョンセミナー2

CCR4を標的とする免疫療法ー日本発世界初のがん抗体療法を目指してー

【モデレーター】 山口 俊晴 (財団法人癌研究会有明病院副院長/消化器外科部長)

【演 者】 石田 高司 (名古屋市立大学大学院医学研究科腫瘍・免疫内科学講師、名古屋市立大学病院血液内科/輸血部副部長)

【共 催】 協和発酵キリン株式会社

シンポジウム 1

創薬を目指したケミカルバイオロジー

【モデレーター】 吉田 稔 ((独) 理化学研究所基幹研究所ケミカルゲノミクス)
秋永 士郎 (協和発酵キリン株式会社開発本部臨床開発部)

- S1-1 醗酵天然物を用いた医療と科学のブレークスルー ～HDAC 阻害剤 FK228 の教訓～52
中島 秀典
アステラス製薬株式会社 分子医学研究所
- S1-2 エピジェネティクス制御機構を標的とした新規がん治療戦略.....52
近藤 豊
愛知県がんセンター研究所 分子腫瘍学部
- S1-3 新規HSP90 阻害剤 KW-2478 の創製研究53
塩津 行正¹、中嶋 孝行¹、石井 俊彦¹、秋永 士郎²、曾我 史朗¹
¹協和発酵キリン (株) 研究本部 がん分野
²協和発酵キリン (株) 開発本部
- S1-4 がん悪性を標的とした制がん剤シードの探索53
井本 正哉
慶応義塾大学
- S1-5 スフィンゴシン-1-リン酸受容体アンタゴニストの抗血管新生作用54
米須 清明
第一三共株式会社 循環代謝研究所

ポスターブリーフィング

【モデレーター】 旦 慎吾 ((財) 癌研究会癌化学療法センター)
清水 史郎 (慶應義塾大学理工学部)

【協 力 者】	磯江 敏幸	協和発酵キリン株式会社	清宮 啓之	(財) 癌研究会
	今村 健志	(財) 癌研究所	関戸 好孝	愛知県がんセンター研究所
	上仲 俊光	エーザイ株式会社	曾和 義広	京都府立医科大学
	宇津木照洋	大鵬薬品工業株式会社	田代 悦	慶應義塾大学
	大森 亨	昭和大学	西岡 安彦	徳島大学
	小野 眞弓	九州大学	西山 正彦	埼玉医科大学
	掛谷 秀昭	京都大学	野口 耕司	慶應義塾大学
	片桐 豊雅	徳島大学	橋本 祐一	東京大学
	川田 学	(財) 微生物化学研究センター	林 良雄	東京薬科大学
	木村 晋也	佐賀大学	藤原 康弘	国立がん研究センター中央病院
	小嶋 聡一	(独) 理化学研究所	伏谷 伸宏	函館国際水産・海洋都市推進機構
	佐藤 靖史	東北大学	松田 彰	北海道大学
	渋谷 正史	東京医科歯科大学	矢野 聖二	金沢大学

7月8日(木) 9:00-9:50

A会場

Year in Review 5,6

- Y5 低分子分子標的薬の現状と展望 - PI3キナーゼ阻害剤を中心に.....50
 【モデレーター】上原 至雅 (岩手医科大学薬学部微生物薬品創薬学講座)
 【演 者】矢守 隆夫 ((財) 癌研究会 癌化学療法センター 分子薬理部)
- Y6 メタボロミクスを用いたがん微小環境の理解とこれに立脚した治療法の開発.....50
 【モデレーター】畠 清彦 ((財) 癌研究会有明病院化学療法科・血液腫瘍科)
 【演 者】江角 浩安 (国立がんセンター東病院)

7月8日(木) 9:00-9:50

B会場

Year in Review 7,8

- Y7 Cancer Stem Cellと標的分子.....51
 【モデレーター】西條 長宏 (近畿大学医学部内科学腫瘍内科部門)
 【演 者】近藤 亨^{1,2} (¹愛媛大学 プロテオ医学 幹細胞部門、
²理化学研究所 発生再生センター 分化転換)
- Y8 マイクロRNAと発がん.....51
 【モデレーター】上田 龍三 (名古屋市立大学大学院医学研究科)
 【演 者】間野 博行^{1,2} (¹東京大学大学院医学系研究科ゲノム医学講座、
²自治医科大学ゲノム機能研究部)

ワークショップ7

がん遺伝子産物

【モデレーター】 清木 元治 (東京大学医科学研究所腫瘍細胞社会学分野)

珠玖 洋 (三重大学大学院医学系研究科がんワクチン治療学遺伝子・免疫細胞治療学)

- W7-1 原がん遺伝子Pim-3の肝臓選択的トランスジェニック・マウスでの肝臓発がん過程の促進.....72
向田 直史
金沢大学 がん研究所 分子生体応答
- W7-2 分子シャペロン阻害剤による抗Tax・抗ATL細胞活性.....72
伊波 英克
大分大学 医学部 微生物学講座
- W7-3 ソラフェニブは非小細胞肺癌株においてKRAS 野生型に対してはBRAFを、KRAS 変異型に対してはCRAFを標的として抗腫瘍効果を発揮する.....73
竹澤 健¹、岡本 勇¹、米阪 仁雄¹、畑下 恵里奈¹、山田 友紀¹、福岡 正博^{1,2}、中川 和彦¹
¹近畿大学医学部附属病院腫瘍内科
²近畿大学医学部附属堺病院 化学療法科
- W7-4 がん遺伝子Ski-SIRT1 複合体によるp53 活性制御機構の解析.....73
井上 靖道^{1,2}、今村 健志^{1,2}
¹財団法人癌研究会 癌研究所生化学部
²JST, CREST

ワークショップ8

DNA複製と修復・テロメア

【モデレーター】 前原 喜彦 (九州大学大学院消化器・総合外科)
田原 栄俊 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科細胞分子生物学)

- W8-1 5-FUによるファンコニ貧血経路活性化のメカニズム**.....74
北尾 洋之¹、藤中 良彦²、飯森 真人¹、ムンフボルド トール¹、中西 良太^{1,2}、山下 奈真²、久保 信英^{1,2}、
吉永 敬士²、徳永 えり子²、佐伯 浩司²、森田 勝²、掛地 吉弘²、前原 喜彦²
¹九州大学医学研究院・がん分子病態学
²九州大学医学研究院・消化器・総合外科
- W8-2 ヒトがん細胞株におけるPARG機能阻害によるDNA損傷に対する致死感受性亢進**.....74
白井 秀徳、杉村 隆、益谷 美都子
国立がんセンター 研究所 生化学部
- W8-3 鎖交換反応を利用しテロメア結合タンパク質およびNF-κBの結合を評価する新規測定法の確立**.....75
喜々津 彩、森田 博人、嶋本 顕、田原 栄俊
広島大学 大学院医歯薬総合研究科
- W8-4 Aurora A過剰発現による細胞分裂異常はテロメア結合タンパク質TRF1によって媒介される**75
大石 智一、清宮 啓之
財団法人癌研究会 癌化学療法センター

ワークショップ9

アポトーシス・オートファジー

【モデレーター】 内藤 幹彦 (国立医薬品食品衛生研究所機能生化学部)
酒井 敏行 (京都府立医科大学大学院医学研究科分子標的癌予防医学)

- W9-1 cIAP1 発現減少に伴う TNF- α 誘導性アポトーシスの増強メカニズムの解明76
大岡 伸通、内藤 幹彦
国立医薬品食品衛生研究所 機能生化学部
- W9-2 HDAC 阻害剤と 15-deoxy- $\Delta^{12,14}$ -prostaglandin J₂ の併用療法は相乗的にアポトーシスを引き起こす76
小山 真¹、アーメッド ゴータ^{1,2}、堀中 真野¹、与五沢 真吾¹、曾和 義広¹、酒井 敏行¹
¹京都府立医大 大学院 分子標的癌予防医学
²タンタ大学 薬学部
- W9-3 非環式レチノイドによる肝細胞癌治療におけるリン酸化阻害作用と標的分子同定の試み77
辰川 英樹¹、石橋 直人²、森脇 久隆³、小嶋 聡一¹
¹理化学研究所 分子リガンド生物研究チーム
²興和株式会社 東京創薬研究所
³岐阜大学 消化器病態学
- W9-4 インドール-3-カルビノールとゲニステインの併用による Akt 経路及びオートファジー進行阻害を介したアポトーシス増強効果77
与五沢 真吾、酒井 敏行
京府医大・院・医学・分子標的癌予防医学

ワークショップ10

腫瘍治療・遺伝子治療・バイオマーカー

【モデレーター】 山口 俊晴 ((財) 癌研究会有明病院)

石岡 千加史 (東北大学加齢医学研究所臨床腫瘍学分野)

- W10-1 本邦における Multi-targeted tyrosine kinase inhibitor による甲状腺機能低下症の発現状況....78
公平 誠、高橋 俊二、仲野 兼司、湯浅 健、畠 清彦
癌研究会有明病院 化学療法科・血液腫瘍科
- W10-2 中空マイクロカプセル化細胞を用いた抗癌剤プロドラッグの局所活性化治療78
田中 真二
東京医科歯科大学 肝胆臓・総合外科
- W10-3 分子標的ツールとしてのがん選択的細胞膜浸透性を発揮する新規高透過能ペプチドの開発研究.....79
近藤 英作
愛知県がんセンター研究所 腫瘍病理学部
- W10-4 健常人における *FCGR2A* と *FCGR3A* の遺伝子多型頻度の解析79
小峰 啓吾、添田 大司、石岡 千加史
東北大学加齢医学研究所癌化学療法研究分野

ワークショップ11

耐性因子・感受性因子

【モデレーター】 福岡 正博 (和泉市立病院がんセンター)
植田 和光 (京都大学物質・細胞統合システム拠点)

- W11-1 SMO阻害剤は急性骨髄性白血病細胞の薬剤耐性を解除する80
小船 雅義、村瀬 和幸、井山 諭、佐藤 勉、瀧本 理修、菊地 尚平、宮西 浩嗣、佐藤 康史、加藤 淳二
札幌医科大学 第四内科
- W11-2 Ph陽性白血病静止細胞とT315I変異に対するイマチニブ耐性：mTOR阻害剤エベロリムス
による克服の可能性80
南 陽介、直江 知樹
名古屋大学 医学部 血液腫瘍内科
- W11-3 ゲフィチニブ耐性獲得に関与するPTENの役割とその転写制御81
山本 千鶴子¹、馬崎 雄二¹、河原 明彦²、中嶋 一貴²、鹿毛 政義²、浦本 秀隆³、安元 公正³、桑野 信彦⁴、
小野 真弓¹
¹九大・院薬・創薬腫瘍科学講座
²久大・病院病理部
³産医大・第二外科
⁴九大・院薬・がん分子生物学
- W11-4 ドセタキセルによる重篤な好中球減少症の発症におけるOATP1B3, MRP2の役割81
前田 和哉¹、中村 祐輔²、杉山 雄一¹
¹東京大学 大学院薬学系研究科
²理化学研究所 ゲノム医科学研究センター

ワークショップ12

血管新生・低酸素・エネルギー代謝

【モデレーター】 田村 友秀 (国立がん研究センター中央病院)
 富田 章弘 ((財) 癌研究会癌化学療法センターゲノム研究部)

- W12-1 低酸素環境適応により治療抵抗性を獲得した慢性骨髄性白血病 (CML) 細胞に対する、低酸素標的薬剤 Rakicidin A の有効性**82
 武内 美紀^{1,2}、芦原 英司¹、木村 晋也²、長尾 里奈¹、田中 瑠璃子¹、八尾 尚幸¹、平位 秀世¹、山崎 洋子⁴、前川 平¹
¹京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部
²滋賀医科大学 消化器・血液内科
³佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科
⁴微生物化学研究会微生物化学研究センター
- W12-2 脱SUMO化酵素 SENP-1 阻害剤の発見**82
 中村 浩之、潘 鉉承
 学習院大学 理学部 化学科
- W12-3 脂質代謝酵素の阻害による制がん効果とその分子メカニズム**83
 右田 敏郎、岡部 幸子、清宮 啓之
 癌研 癌化療セ 分子生物治療
- W12-4 ミトコンドリアによる glucose addiction の回避**83
 芳賀 直実、齋藤 さかえ、築茂 由則、富田 章弘
 財団法人癌研究会 癌化学療法センター

7月8日 (木) 12:10-13:10

A会場

ランチョンセミナー3

癌遺伝子研究 “今昔”

- 【モデレーター】木村 晋也（佐賀大学医学部医学科内科学講座血液・呼吸器・腫瘍内科）
【演 者】山本 雅（東京大学医科学研究所）
【共 催】大鵬薬品工業株式会社

7月8日 (木) 12:10-13:10

B会場

ランチョンセミナー4

キナーゼ阻害薬 Update

- 【モデレーター】田村 友秀（国立がん研究センター中央病院）
【演 者】西岡 安彦（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部呼吸器・膠原病内科学分野）
【共 催】エーザイ株式会社

7月8日 (木) 13:50-14:20

A会場

技術紹介

Trabedersen: From the Laboratory into the Clinic

- 【モデレーター】宮園 浩平（東京大学大学院医学系研究科分子病理学）
【演 者】Karl-Herrmann Schlingensiepen（Antisense Pharma）

シンポジウム2

がん分子標的薬の耐性化メカニズム：基礎と臨床

【モデレーター】 曾根 三郎（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス部呼吸器・膠原病内科学分野/腫瘍内科学分野）
佐谷 秀行（慶應義塾大学医学部先端医科学研究所遺伝子制御研究部門）

- S2-1 血管新生阻害剤の耐性メカニズム**.....55
西尾 和人
近畿大学 医学部 ゲノム生物学
- S2-2 白血病幹細胞制御機構の解明と治療戦略**.....55
平尾 敦
金沢大学 がん研究所
- S2-3 腎細胞癌のチロシンキナーゼ阻害剤に対する耐性獲得機構とその克服の可能性**.....56
三宅 秀明、藤澤 正人
神戸大学大学院 腎泌尿器科学分野
- S2-4 乳癌におけるPI3K/Akt経路の活性化とホルモン治療抵抗性とその克服**.....56
徳永 えり子¹、吉永 敬士¹、北尾 洋之^{1,2}、森田 勝¹、掛地 吉弘¹、前原 喜彦¹
¹九州大学 消化器・総合外科
²九州大学 がん分子病態学
- S2-5 肺がんのEGFR-TKI耐性の分子機構と克服に向けた試み**.....57
矢野 聖二
金沢大学 がん研究所 腫瘍内科

特別発言

岡本 勇
近畿大学医学部附属病院腫瘍内科

ポスターセッション1

ケミカルバイオロジー [I] (探索・合成)

P1-1	大腸菌を用いた p38 MAP kinase 阻害剤探索系構築とその汎用性 84 須藤 龍彦、長田 裕之 理研 ケミカルバイオロジー研究基盤施設	84
P1-2	分裂酵母を用いたタンキラーゼ 1 阻害剤のハイスループットスクリーニングシステムの構築 84 八代田 陽子 ¹ 、竹本 靖 ¹ 、杉本 芳一 ² 、長田 裕之 ³ 、清宮 啓之 ⁴ 、吉田 稔 ¹ ¹ 理研・基幹研・ケミカルゲノミクス ² 慶應大学・薬学部・化学療法学 ³ 理研・基幹研・ケミカルバイオロジー ⁴ 癌研・化療セ・分子生物治療研究部	84
P1-3	細胞形態変化を指標としたがん分子標的治療薬の探索研究 85 二村 友史、長田 裕之 理研 ケミカルバイオロジー研究基盤施設	85
P1-4	14-3-3 タンパク質阻害小分子探索系の構築 85 真田 英美子、渡辺 信元、長田 裕之 理研 ケミカルバイオロジー研究基盤施設	85
P1-5	抗腫瘍活性アセトゲニンの含フッ素アナログの合成と活性評価 86 小島 直人 ¹ 、矢守 隆夫 ² ¹ 大阪大学大学院薬学研究科 ² (財) 癌研究会癌化学療法センター	86
P1-6	カルボラン含有トリアジン類のトポイソメラーゼ阻害活性 86 東海林 篤 ¹ 、潘 鉉承 ¹ 、矢守 隆夫 ² 、中村 浩之 ¹ ¹ 学習院大学 理学部 化学科 ² 癌研究会癌化学療法センター 分子薬理部	86
P1-7	カルボラン含有低分子 20S プロテアソーム活性化剤の開発 87 峯岸 秀充、清水 一希、潘 鉉承、中村 浩之 学習院大学 理学部 化学科	87
P1-8	プロテアソーム阻害剤チロペプチンのボロン酸誘導体の生物活性 87 百瀬 功、飯島 正富、大庭 俊一、増田 徹、池田 大四郎 微生物化学研究セ 沼津創薬医科学研究所	87

ポスターセッション2

ケミカルバイオロジー[II] (オミックス・イメージング)

- P2-1 2D-DIGE プロテオーム解析を応用した薬剤作用解析システム**88
 室井 誠、近藤 久恵、長田 裕之
 理研 ケミカルバイオロジー研究基盤施設
- P2-2 ケミカルバイオロジーのためのプロテオミクス**88
 堂前 直^{1,2,3}
¹理研 ケミカルバイオロジー研究基盤施設
²理研 ケミカルゲノミクス研究グループ
³JST CREST
- P2-3 分裂酵母を用いた抗がん剤標的分子の網羅的な同定法の開発**89
 有田 祐子^{1,2}、西村 慎一³、吉田 稔^{1,2,3,4}
¹理化学研究所 吉田化学遺伝学研究室
²埼玉大学 大学院理工学研究科 理工学専攻
³理化学研究所 基幹研ケミカルゲノミクス
⁴科学技術振興機構 戦略的創造推進事業
- P2-4 ユビキチン融合蛍光蛋白質を用いたプロテアソーム阻害活性のin vivoイメージング**89
 立田 大輔、百瀬 功、大庭 俊一、増田 徹、池田 大四郎
 微生物化学研究セ 沼津創薬医科学研究所
- P2-5 蛍光自己相関および交差相関解析によるプロテアソーム阻害剤の結合動態解析**90
 長谷川 慎¹、木下 和拓¹、安田 ゆかり¹、吉田 哲郎²、水上 民夫¹
¹長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部
²協和発酵キリン (株)
- P2-6 Plinabulinケミカルプローブの開発とプローブの機能評価**90
 山崎 有理、林 良雄
 東京薬科大学 薬学部 薬品化学教室

ポスターセッション3

ケミカルバイオロジー[III] (標的特定・作用解析)

- P3-1 低酸素誘導因子 (HIF) 阻害剤 GN26361 の作用機序の解明** 91
 潘 鉉承、清水 一希、峯岸 秀充、中村 浩之
 学習院大学 理学部 化学科
- P3-2 細胞質空胞化を誘導する NPD1801 の作用機構解析** 91
 川谷 誠¹、風見 紗弥香¹、青野 晴美¹、早川 洋一²、長田 裕之¹
¹理研 ケミカルバイオロジー研究基盤施設
²東京理科大 薬
- P3-3 2D-DIGE を用いたプロテオーム解析によるクルクミンの標的分子特定** 92
 近藤 久恵¹、室井 誠¹、山越 博幸²、叶 直樹²、柴田 浩行³、岩淵 好治²、長田 裕之¹
¹理研 ケミカルバイオロジー研究基盤施設
²東北大学大学院薬学研究科
³秋田大学大学院医学系研究科
- P3-4 プレオマイシン惹起 G2 期停止を阻害するピクニジオンの作用機序の解析** 92
 松田 大介¹、矢守 隆夫²、供田 洋¹
¹北里大学 薬学部
²癌研究会癌化学療法センター分子薬理部
- P3-5 新規イソベンゾフラノン誘導体の PKC 阻害機構の解析** 93
 田村 結城、平井 剛、袖岡 幹子
 理研 基幹研 有機合成化学
- P3-6 両特異性プロテインホスファターゼ阻害剤 RE 誘導体の活性評価** 93
 平井 剛、土屋 綾子、袖岡 幹子
 理化学研究所 基幹研究所
- P3-7 プロテインノックダウン技術を応用した CRABP の分解** 94
 奥平 桂一郎¹、大岡 伸通¹、最上 (西巻) 知子¹、橋本 祐一²、内藤 幹彦¹
¹国立医薬品食品衛生研究所 機能生化学部
²東京大学 分子細胞生物学研究所

ポスターセッション4

アポトーシス

- P4-1 腎臓がんに対するカチオニックハイブリッドリボソームのアポトーシス誘導**95
 日野 元貴、梅林 雅代、市原 英明、松本 陽子、上岡 龍一
 崇城大学 大学院 応用生命科学専攻
- P4-2 Irciniastatin A/psymberin によるアポトーシス誘導**95
 白井 健郎¹、南雲 陽子¹、叶 直樹²、片岡 孝夫³、岩渕 好治²
¹筑波大学大学院 生命環境科学研究科
²東北大学大学院 薬学研究科
³京都工業繊維大学大学院
- P4-3 5-Fluoro-2'-deoxyuridine が誘導する細胞死分子機構の解析研究～ネクローシスとアポトーシスの制御因子の探索～**96
 山本 朗央、佐藤 聡、金 恵淑、綿矢 有佑
 岡山大学 薬学部
- P4-4 新規抗腫瘍ヌクレオシドアナログ 3'-Ethylnylcytidine (ECyd ; TAS-106) によるアポトーシス誘導機構の解明**96
 大見 拓也¹、佐藤 聡¹、松田 彰²、佐々木 琢磨³、福島 正和⁴、金 恵淑¹、綿矢 有佑¹
¹岡山大学 薬学部
²北海道大学 薬学部
³愛知学院大学 薬学部
⁴大鵬薬品 徳島研究センター
- P4-5 植物寄生糸状菌由来の新規化合物 allantopyrone A の抗癌作用メカニズム**97
 油井 信弘、木村 賢一
 岩手大学大学院 連合農学研究科
- P4-6 大腸癌細胞に対する FAK 阻害剤の抗腫瘍効果**97
 山村 真弘¹、濃野 勉³、山口 佳之¹、平井 敏弘²
¹川崎医科大学 臨床腫瘍科
²川崎医科大学 消化器外科
³川崎医科大学 分子生物学
- P4-7 レチノイン酸によるヒト急性前骨髄性白血病の分化誘導療法におけるトランスグルタミナーゼの役割** ..98
 江田 諭司、辰川 英樹、小嶋 聡一
 理化学研究所 分子リガンド生物研究チーム

ポスターセッション5

転移・浸潤

- P5-1 K⁺チャネルブロッカーによる癌細胞の in vitro 浸潤抑制**99
安カ川 たまみ、兼田 亜弓、梅澤 一夫
慶應義塾大学理工学部応用化学科
- P5-2 VEGF-A/VEGFR-2 阻害剤による隣癌細胞の浸潤抑制**99
土井 洋輔、八代 正和、山田 靖哉、天野 良亮、野田 諭、大平 雅一、平川 弘聖
大阪市立大学大学院 医学研究科 腫瘍外科
- P5-3 Statins による Rho/ROCK 経路阻害を介した肺転移抑制効果**100
椿 正寛¹、山添 譲^{1,2}、磯崎 美沙子¹、磯野 藍¹、金子 淳一¹、尾垣 光彦^{1,3}、莊子 夏緒里^{1,3}、松岡 寛^{1,4}、
谷森 佳弘^{1,2}、木寺 康裕^{1,2}、柳江 正嗣^{1,5}、西田 升三¹
¹近畿大学薬学部薬物治療学研究室
²近畿大学医学部附属病院薬剤部
³東大阪市立総合病院薬剤部
⁴近畿大学医学部奈良病院薬剤部
⁵近畿大学医学部堺病院薬剤部
- P5-4 Dimethylfumarate による NF-kappaB 阻害を介した肺転移抑制効果**100
金子 淳一¹、椿 正寛¹、山添 譲^{1,2}、磯崎 美沙子¹、磯野 藍¹、松岡 寛^{1,3}、谷森 佳弘^{1,2}、木寺 康裕^{1,2}、
柳江 正嗣^{1,4}、西田 升三¹
¹近畿大学薬学部薬物治療学研究室
²近畿大学医学部附属病院薬剤部
³近畿大学医学部奈良病院薬剤部
⁴近畿大学医学部堺病院薬剤部
- P5-5 Protein disulfide isomerase 阻害剤の探索と NPD281 による阻害**101
カーン モハマッド ゴーラム マオラ^{1,2}、清水 史郎¹、長田 裕之^{1,2}
¹理研 ケミカルバイオロジー研究基盤施設
²埼玉大学大学院 理工学研究科

ポスターセッション6

細胞周期・転写因子

- P6-1 新規M期キネシンEg5阻害薬の異種移植腫瘍モデルにおける抗腫瘍活性**102
 中井 龍一郎¹、秋永 士朗²
¹協和発酵キリン (株) 研究本部探索研究所
²協和発酵キリン (株) 開発本部臨床開発部
- P6-2 Biological evaluation of novel multi-targeted Aurora-B kinase inhibitor TAK-901 in xenograft models**102
 星野 崇¹、野村 俊之¹、大田 義一¹、De Jong Rinaldo²
¹武田薬品工業株式会社
²武田サンディエゴ (株)
- P6-3 GANP発現低下によるDNA損傷応答の誘導**103
 桑原 一彦、阪口 薫雄
 熊本大学 大学院生命科学研究部 免疫学
- P6-4 癌抑制遺伝子p53 Pro72残基 polymorphismがストレス応答へ与える影響**103
 土生 敏行
 京都大学 放射線生物研究センター
- P6-5 成人T細胞白血病MT-1細胞における(-)-DHMEQによるnoncanonical NF- κ B活性化の抑制**..104
 竹入 雅敏¹、堀江 良一²、梅澤 一夫¹
¹慶應義塾大学 理工学部 応用化学科
²北里大学 医学部 血液内科
- P6-6 転写因子ZNF143によるDNA複製および細胞周期関連因子の発現制御と腫瘍増殖**104
 和泉 弘人¹、柏木 英志¹、安庭 義浩¹、秋山 正樹¹、Han Bin¹、Wu Ying¹、内海 健²、荒尾 徳三³、
 西尾 和人³、河野 公俊¹
¹産業医科大学 医学部 分子生物学
²九州大学医学研究院 臨床検査医学
³近畿大学 医学部 ゲノム生物学
- P6-7 ミトコンドリア転写因子mtTFAは癌で高発現し、核で機能する**105
 ハンビン、柏木 英志、安庭 義浩、秋山 正樹、ウイン、河野 公俊
 産業医科大学 医学部 分子生物学
- P6-8 YB-1は新しい腫瘍血管分子標的である**105
 ウイン、柏木 英志、安庭 義浩、秋山 正樹、ハンビン、河野 公俊
 産業医科大学 医学部 分子生物学

ポスターセッション7

増殖因子・サイトカイン・ホルモン

- P7-1 新規 MEK1/2 阻害薬 TAK-733 による抗腫瘍効果および血管新生阻害効果** 106
土屋 俊太郎¹、ヴィンセント パトリック²、堀 晃¹
¹武田薬品工業株式会社
²武田サンディエゴ
- P7-2 新規 VEGFR/PDGFR チロシンキナーゼ阻害薬 TAK-593 の血管新生阻害効果** 106
粟津 紀香、堀 晃
武田薬品工業株式会社
- P7-3 新規 EGFR-TK 分子イメージング薬剤 PYK の開発 (1) :分子イメージング薬剤としての基礎的評価** 107
平田 雅彦¹、間賀田 泰寛²
¹大阪薬大
²浜松医科大学 光量子医学研究センター
- P7-4 非小細胞肺癌細胞における EGFR の Ser/Thr リン酸化の解析** 107
櫻井 宏明、小泉 桂一、済木 育夫
富山大学・和漢研・病態生化学
- P7-5 VEGF-A のがん細胞への効果と Neuropilin シグナル** 108
瀬尾 美鈴
京都産業大学 工学部 生物工学科
- P7-6 TRAIL 受容体から EGFR への cross talk signal の分子機構** 108
大森 亨¹、鹿目 知子¹、門福 強樹¹、山岡 利光²、楠本 壮二郎²、杉山 智英²、白井 崇生²、奥田 健太郎²、大西 司²、廣瀬 敬²、足立 満²、西條 長宏³
¹昭和大学 腫瘍分子生物学研究所
²昭和大学 呼吸器アレルギー内科
³近畿大学 医学部 腫瘍内科学教室
- P7-7 悪性中皮腫細胞の増殖における TGF- β シグナルおよび YAP の協調的役割について** 109
藤井 万紀子¹、豊田 武士²、長田 啓隆¹、矢田部 恭³、松平 康枝¹、村上 秀樹¹、近藤 豊¹、樋田 豊明³、関戸 好孝¹
¹愛知県がんセンター研究所
²国立医薬品食品衛生研究所
³愛知県がんセンター中央病院
- P7-8 ヒト大腸癌細胞を用いた Syndecan-1 安定発現細胞の樹立とその解析** 109
林 宏明、南口 和久、加納 亮、石田 啓介、寺田 忠史、松尾 憲一、宇津木 照洋
大鵬薬品工業株式会社 創薬センター
- P7-9 前立腺癌における CCL2 の発現と angiotensin II type 1 receptor blockade の効果についての検討** 110
城武 卓、宮嶋 哲、小坂 威雄、菊地 栄次、大家 基嗣
慶應義塾大学 医学部 泌尿器科
- P7-10 前立腺がんにおけるアンドロゲン受容体シグナル阻害物質の同定と分類** 110
岡部 幸子、馬島 哲夫、清宮 啓之
財団法人癌研究会 癌化学療法センター
- P7-11 前立腺癌細胞においてテストステロンは酸化ストレス下に DNA damage response を活性化する** 111
井手 久満、陸 彦、于 浄松、武藤 智、堀江 重郎
帝京大学 医学部 泌尿器科

ポスターセッション8

がん遺伝子産物・腫瘍治療・バイオマーカー

- P8-1** HER2 過剰発現胃癌における S-1 と HER2 標的治療薬の併用は相乗効果を発揮する112
 谷崎 潤子¹、岡本 勇¹、竹澤 健¹、福岡 正博²、中川 和彦¹
¹近畿大学医学部附属病院 腫瘍内科
²近畿大学 堺病院 化学療法科
- P8-2** 胃癌における治療標的としての c-Src とその耐性に関する検討112
 岡本 渉¹、岡本 勇¹、岡本 邦男¹、吉田 健史¹、竹澤 健¹、荒尾 徳三²、柳原 五吉³、福岡 正博⁴、
 西尾 和人²、中川 和彦¹
¹近畿大学 医学部 内科学 腫瘍内科部門
²近畿大学医学部 ゲノム生物学教室
³安田女子大学 薬学部薬学科 生命薬学講座
⁴近畿大学 医学部 堺病院 化学療法科
- P8-3** 乳癌細胞に対する c-met 阻害の有用性113
 柏木 伸一郎、八代 正和、高島 勉、野田 諭、川尻 成美、小野田 尚佳、石川 哲郎、平川 弘聖
 大阪市立大学大学院 腫瘍外科
- P8-4** 新規抗癌剤標的 *TRA2B* の機能解析113
 和田 智^{1,2}、江口 英孝^{2,3}、谷本 圭司⁴、檜山 桂子⁴、西山 正彦^{1,2,3,4}
¹埼玉医大・ゲノム医セ・TR
²埼玉医大・ゲノム医セ・プロジェクト
³埼玉医大・国際医療セ・TRセンター
⁴広島大学・原医研・遺伝子診断治療開発研究
- P8-5** 分子標的治療薬導入による大腸癌治療の発展114
 岡田 佳也^{1,2}、加藤 俊介^{1,2}、工藤 千枝子^{1,2}、小峰 啓吾^{1,2}、石岡 千加史^{1,2}
¹東北大学 加齢医学研究所
²東北大学病院 腫瘍内科
- P8-6** PI3キナーゼ阻害剤 ZSTK474 と mTOR 阻害剤ラパマイシン併用による抗腫瘍効果の増強114
 吉見 直^{1,2}、岡村 睦美¹、山崎 佳波¹、矢守 隆夫¹
¹癌研・化療セ・分子薬理部
²全薬工業(株) 中央研究所
- P8-7** 成人性 T 細胞性白血病における Tumor Initiating Cell 同定への試み115
 矢持 忠徳¹、守田 洋平²、矢持 淑子⁵、佐々木 陽介⁵、中内 啓光²、内丸 薫²、濱口 功³、宇都宮 興⁴、
 渡邊 俊樹¹
¹東京大学大学院 新領域創成科学研究科
²東京大学・医科学研究所
³国立感染症研究所 血液・安全性研究部
⁴今村病院分院 血液内科
⁵昭和大学 第2病理学教室
- P8-8** 小胞体アミノペプチダーゼ 1 によるマクロファージの活性化115
 後藤 芳邦¹、小川 健司¹、服部 明²、辻本 雅文¹
¹理研・細胞生化
²京大・薬

- P8-9 イマチニブ耐性患者における BCR-ABL 点突然変異の全自動点突然変異解析法に関する検討**.....116
田中 瑠璃子¹、木村 晋也^{1,2}、長尾 里奈¹、横田 明日美¹、武内 美紀¹、平位 秀世¹、芦原 英司¹、
前川 平¹
¹京都大学 医学部附属病院 輸血細胞治療部
²佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科
³アークレイ株式会社
- P8-10 血清中HGFはEGFRチロシンキナーゼ阻害剤の効果予測因子である**.....116
坂井 和子¹、荒尾 徳三¹、笠原 寿郎²、松本 和子¹、酒井 麻夫²、木村 英晴¹、曾根 崇²、堀池 篤³、
西尾 誠人³、大平 達夫⁴、池田 徳彦⁴、山中 竹春⁵、西條 長宏¹、西尾 和人¹
¹近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室
²金沢大学 医学部 附属病院 呼吸器内科
³癌研究会 有明病院 呼吸器内科
⁴東京医科大学 外科学 第一講座
⁵国立病院機構九州がんセンター 臨床研究部

ポスターセッション9

血管新生

- P9-1 膀胱癌におけるシスプラチン投与と Angiotensin II type I receptor (AT1R)の発現の変化に関する検討**.....117
田中 伸之、宮嶋 哲、小坂 威雄、城武 卓、長谷川 政徳、菊地 栄次、大家 基嗣
慶應義塾大学 医学部 泌尿器科学教室
- P9-2 血管新生阻害剤 TSU-68 の悪性胸膜中皮腫同所移植モデルにおける抗腫瘍効果の検討**.....117
チュン バンテ¹、後東 久嗣²、埴淵 昌毅²、柿内 聡司¹、レタン ダー¹、矢野 聖二³、秋山 伸一¹、西岡 安彦²、曾根 三郎^{1,2}
¹徳島大学 腫瘍内科学分野
²徳島大学 呼吸器・膠原病内科学分野
³金沢大学がん研究所 腫瘍内科
- P9-3 血管内皮細胞における VEGFR2 チロシンキナーゼ阻害薬耐性メカニズムの検討**.....118
松本 和子¹、荒尾 徳三¹、古田 一行¹、工藤 可苗¹、金田 裕靖¹、青松 圭一¹、田村 大介¹、永井 知行¹、坂井 和子¹、木村 英晴¹、藤田 至彦¹、西條 長宏²、西尾 和人¹
¹近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室
²近畿大学 医学部
- P9-4 概日リズムの乱れは腫瘍増殖・血管新生・間質新生を引き起こす**.....118
安庭 義浩、和泉 弘人、柏木 英志、平野 元、木谷 昭彦、ハンビン、ウイン、河野 公俊
産業医科大学 分子生物学
- P9-5 スプライシング阻害剤スプライソスタチンAによる VEGF 発現抑制を介した腫瘍血管新生阻害**...119
内田 和代、古米 亮平、小嶋 聡一、吉田 稔
独立行政法人理化学研究所基幹研究所
- P9-6 生薬 *Polygala senega* 由来サポニン senegin 類の血管新生阻害作用**.....119
河内 崇志、荒井 雅吉、古徳 直之、小林 資正
大阪大学大学院 薬学研究科

ポスターセッション10

低酸素・エネルギー代謝

- P10-1 新規低酸素誘導因子(HIF)阻害剤の創製研究**.....120
 大槻 さつき¹、高須 康明¹、高畑 ひさ枝¹、清水 史郎²、長田 裕之²、服部 明¹、掛谷 秀昭¹
¹京大 院薬 システムケモセラピー (制御)
²理研 ケミカルバイオロジー
- P10-2 非生物由来ナノパターンを用いた新規三次元培養法によるがん細胞スフェロイド形成と低酸素環境の検討**.....120
 吉井 幸恵¹、脇 厚生^{1,2}
¹福井大学 高エネルギー医学研究センター
²SCIVAX株式会社
- P10-3 がん微小環境を標的としたブラジル産プロポリス成分の創薬化学研究**.....121
 服部 久範、成瀬 康介、奥田 健介、永澤 秀子
 岐阜薬科大学 創薬化学大講座 薬化学研究室
- P10-4 チミジンホスホリラーゼによる活性酸素の産生機構**.....121
 田畑 祥^{1,2}、山本 雅達¹、池田 龍二³、古川 龍彦¹、南 謙太郎^{1,2}、西岡 安彦⁴、曾根 三郎⁴、秋山 伸一⁴
¹鹿児島大院 医歯学総合研究科 分子腫瘍学
²鹿児島大院 医歯学総合研究科 薬物動態
³鹿児島大学 医学部歯学部附属病院 薬剤部
⁴徳島大院 呼吸器膠原病内科
- P10-5 HIF-1 活性の光イメージングによるベバシズマブ・放射線併用プロトコールの最適化**.....122
 朱 宇熹^{1,2}、板坂 聡²、原田 浩¹、平岡 真寛²
¹京大 生命科学系キャリアパス形成ユニット
²京大院医 放射線腫瘍学・画像応用治療学
- P10-6 ハイポキシア応答性粒子を目指した化合物の合成および機能評価**.....122
 久野 光¹、池田 豊^{1,2,3}、菊池 明彦⁶、長崎 幸夫^{1,2,3,4,5}
¹筑波大学院数理物質
²筑波大学 TIMS
³筑波大学 TARA
⁴筑波大学院人間総合
⁵物質・材料研究機構 MANA, NIMS
⁶東京理科大学基礎工学部材料工学
- P10-7 HeLa 融合細胞における p53 非依存的な糖輸送タンパク質 GLUT 遺伝子の発現制御**.....123
 渡辺 勝、佐京 智子、北川 隆之
 岩手医科大学

ポスターセッション11

DNA複製と修復・テロメア・耐性因子・感受性因子

- P11-1 DNA-依存性キナーゼを標的とした成人T細胞白血病・リンパ腫に対する治療法の検討**124
末岡 栄三朗¹、荒金 尚子²、岡本 一也³、木村 晋也²
¹佐賀大学医学部附属病院輸血部
²佐賀大学医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科
³日本化薬(株) 医薬研究所
- P11-2 スプライシングファクターSF3b3阻害による抗がん作用機序の可能性**124
須藤 優樹¹、坂田 豊典¹、田原 栄俊²
¹広島大学 薬学部
²広島大学 大学院 医歯薬総合研究科
- P11-3 グアニン四重鎖を安定化する大環状ポリオキサゾール化合物の抗腫瘍活性に関する研究**125
飯田 圭介¹、寺 正行¹、新家 和男²、清宮 啓之³、長澤 和夫¹
¹東京農工大学 工学府 長澤研究室
²(独) 産業技術総合研究所
³(財) 癌研究会癌化学療法センター
- P11-4 EMTと薬剤感受性**125
荒尾 徳三¹、青松 圭一¹、古田 一行¹、松本 和子¹、金田 祐靖¹、工藤 可苗¹、田村 大介¹、永井 知行¹、
坂井 和子¹、木村 英晴¹、藤田 至彦¹、山田 康秀³、西條 長宏²、西尾 和人¹
¹近畿大学医学部ゲノム生物学教室
²近畿大学医学部
³がんセンター中央病院消化器内科
- P11-5 Snailに誘導される上皮間葉移行は肺癌の微小管作用薬の感受性を規定する。**.....126
田村 大介^{1,2}、荒尾 徳三¹、永井 知行¹、青松 圭一¹、金田 裕靖¹、松本 和子¹、工藤 可苗¹、坂井 和子¹、
木村 英晴¹、藤田 至彦¹、古田 一行¹、小谷 義一²、西村 善博²、西條 長宏³、西尾 和人¹
¹近畿大学医学部ゲノム生物学教室
²神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野
³近畿大学医学部
- P11-6 ABCC2は乳がん由来のSP細胞表面に過剰発現し、抗がん剤耐性に関与する**126
小池 清恵¹、片山 量平¹、杉本 芳一²、藤田 直也¹
¹(財) 癌研究会癌化学療法センター 基礎部
²慶應義塾大学 薬学部 化学療法学講座
- P11-7 がん由来細胞株における薬物トランスポーターOATP1B3のエピジェネティック制御の解析**127
楠原 洋之、杉山 雄一
東京大学大学院薬学系研究科

ポスターセッション12

耐性因子・感受性因子

- P12-1 卵巣がんにおける抗 HER2 抗体感受性解析** 128
南雲 陽子
筑波大学大学院 生命環境科学研究科
- P12-2 CDK 阻害剤による DHFR 発現抑制を介した MTX 感受性増強についての検討** 128
内山 人二¹、曾和 義広¹、堀中 真野¹、酒井 敏行¹
¹京都府立医科大学 分子標的癌予防医学
²京都府立医科大学 血液・腫瘍内科学
- P12-3 分子標的薬剤 imatinib の抗腫瘍効果に関与する新規タンパク質 RING finger protein 137 の機能解析** 129
國吉 良子¹、照井 康仁^{1,3}、三嶋 雄二^{1,2}、畠 清彦^{1,2,3}
¹癌研 化療センター 臨床部
²癌研 化療センター オリンパスラボ
³癌研 有明病院 化学療法科
- P12-4 ゲムシタビン耐性膀胱がん細胞での機構の解析** 129
古川 龍彦¹、南 謙太郎^{1,2}、池田 龍二²、小松 正治³、山本 雅達¹、田畑 祥^{1,2}、秋山 伸一¹
¹鹿児島大学大学院・医歯研・分子腫瘍
²鹿児島大学大学院・医歯研・薬物動態制御学
³鹿児島大・水産学部・食品資源利用学
- P12-5 肺癌患者血漿 DNA を用いた EGFR 変異 T790M の全自動検出系の確立** 130
中村 朝美¹、荒金 尚子¹、岩永 健太郎^{1,2}、佐藤 明美¹、小宮 一利¹、安部 友範¹、出勝¹、嬉野 紀夫^{1,2}、林 真一郎¹、末岡 榮三郎^{1,3}、木村 晋也¹
¹佐賀大学 医学部 血液・呼吸器・腫瘍内科
²佐賀県立好生館病院
³佐賀大学医学部附属病院 輸血部
- P12-6 ゲフィチニブ耐性 EGFR T790M 変異の克服を志向したキナーゼ阻害剤プロファイリング** 130
西谷 直之、津田 香代子、上原 至雅
岩手医科大学 薬学部
- P12-7 ゲフィチニブは ABCB1 および ABCG2 による抗癌剤耐性のどちらをより選択的に克服するのか** 131
井上 裕貴¹、池上 洋二¹、中川 大²、佐野 和美¹、石川 智久³
¹明治薬科大学
²東京工業大学大学院生命理工学研究科
³理化学研究所横浜研究所